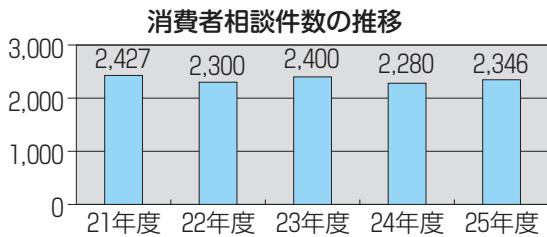




# 目黒区の消費者相談の現状について

## ◇25年度の受付状況

受付件数は2,346件で前年度に比べて66件増加しました。(前年比2.9%増)



受付件数は過去5年間を見てもほぼ横ばいですが、年々契約内容の複雑化が進み、相談者ご自身で解決することが困難なため相談員があっせんした相談は、258件(全体の11%)ありました。

## ◇相談内容の実態

商品やサービスの内容別では賃貸住宅が1位で、主に退去時の原状回復をめぐる敷金返還や住宅内の不具合などに関する相談です。

2位は、アダルト情報サイトに関する相談ですが、このほかにも携帯電話やパソコンのコンテンツや出会い系サイトに関する相談も多くあります。「無料のはずが、年齢確認をクリックしたら有料登録になり、請求書が画面から消えない」などのワンクリック請求や、「内職・副業を探していて、お金をくれるという人とのやりとりをはじめたが高額のサイト利用料を請求されている」という出会い系サイトのものが年代に係わらず多く寄せられています。

3位は、商品一般です。「何でもいいので買い取ります」、「身に覚えのない商品が届いた」というような商品が特定できない相談です。

(分類は、独立行政法人国民生活センター PIO-NETの商品別分類によります。)

## 商品・サービス等内容別相談実績

順位	商品役務名	件数
1	賃貸住宅(敷金返還、住宅の不具合など)	160件
2	アダルト情報サイト	133件
3	商品一般	74件
4	デジタルコンテンツ	60件
5	フリーローン・サラ金	55件

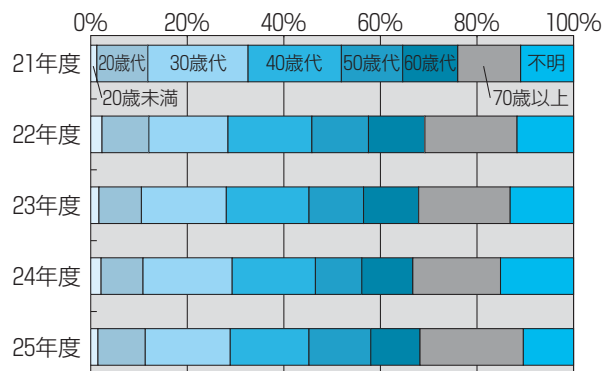
## ◇最近の相談の特徴

突然、自宅を訪れ「近所で工事をしているが、お宅の屋根が壊れているのが見えた。安くできるから葺き替え工事をしないか」と勧誘され、契約したという相談や、消火器の点検と称して訪問され、長期の保守契約を結んでしまったという相談もあります。

また、インターネット通販を利用し、代金を銀行振込みしたが商品が届かない、あるいは、まったく別のものが海外から届いたという相談が増えました。

年代別では、高齢者の相談が増加傾向にあります。

## 契約当事者の年代推移



## ◇消費者被害は、あきらめずにご相談を!

高齢者の被害防止には、日頃から電話や訪問による勧誘販売への対処法を一緒に決めておくなど、ご家族や周囲の皆さんの見守りが大切です。周囲のかたの気づきがかきかけで相談され、解決に至った事例もあります。少しでも疑問に思ったら、迷わず消費生活センターへ相談するよう勧めてください。直後であれば被害回復の可能性もあります。

あらたな被害を防ぐための、情報提供もよろしく願います。

### 夏休み

## 子ども向け企画 キッズCon.チャレンジ

子どもたちが小さな消費者(Consumer)として必要な力・知恵を、楽しみながら身につけられるイベントです。

開催日: 7月22日(火)・24日(木)

予定講座: ・糖度計を使って飲み物の糖度を調べてみよう

・手づくり乾電池教室 など

=詳細は区報7月5日号をご覧ください=

シグナル83号に関するご意見や今後の発行に関するご要望をお寄せください。

発行 目黒区消費生活センター  
(目黒区産業経済部産業経済・消費生活課)

〒153-0063 目黒区目黒2-4-36 目黒区民センター内  
TEL: 03-3711-1133 FAX: 03-3711-5297

目黒区 消費生活

検索



メールマガジンを配信しています。

